



前の問題の解答をもとに、次の問題の解答が決まる形式

## 共通テスト

### 第2問 問5

問4 次のあ・いは、それぞれ資料2・3の法律の名である。あ・いと、それぞれが作られた理由や背景として考えられることを述べた文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 13

法律の名

- あ 先住民の強制移住法(インディアン強制移住法)  
い カンザス=ネブラスカ法

法律が作られた理由や背景として考えられること

- X 北緯36度30分以上に奴隷州を作らないという規制を廃止するため。  
Y 西部出身のジャクソンが大統領に当選した。  
Z 一定の条件を満たす入植者に、国有地を無償で与えるため。

- ① あ-X                      ② あ-Y                      ③ あ-Z  
④ い-X                      ⑤ い-Y                      ⑥ い-Z

問5 問4で選んだ解答に基づき、それぞれの法律が施行されたことがきっかけとなって起こった事柄について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

- ① 「涙の旅路(涙の踏みわけ道)」として知られる悲劇を生んだ。  
② ホームステッド法(自営農地法)が制定された。  
③ アメリカ労働総同盟が結成された。  
④ 棍棒外交が展開された。  
⑤ 共和党が結成された。  
⑥ 連邦派と反連邦派が対立した。

## 河合塾

### 第1回共通テスト対応カトレーニング 世界史B 第2問 問2

問2

(1) 下線部④に関連して、イギリスの政党とその政党に属する政治家の名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 10

- ① 労働党—マクドナルド  
② 民主党—グラッドストーン  
③ 保守党—ディズレーリ  
④ 共産党—エーベルト  
⑤ 共和党—マッキンリー  
⑥ 自由党—クロムウェル

(2) (1)で選んだ答えについて、その政党について述べているものを、次のa～hから三つ選択し、それらを年代順に配列したものととして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

- a その政党の首相が大西洋上会談に参加した。  
b その政党の首相がスエズ運河会社のエジプト持ち株を買収した。  
c その政党の内閣のとき、インド・パキスタンの独立を承認した。  
d 第一次世界大戦後に、その政党として初の内閣を組織した。  
e その政党の内閣のとき、第3回選挙法改正を実施した。  
f その政党の首相は失業保険を削減しようとしたため、党の支持を失った。  
g その政党の内閣のとき、権利の章典を制定した。  
h その政党の内閣のとき、新自由主義(改革)を掲げ、産業の民営化が進められた。

- ① a → b → g                      ② b → a → h                      ③ c → e → b  
④ d → f → c                      ⑤ e → f → b                      ⑥ f → g → h  
⑦ g → a → d                      ⑧ h → e → c

最初の小問の解答が複数あり、そこで選んだ解答に関する問いに次の問題で答えさせる形式。前の問題の解答のうちどれを選ぶかによって次の問題の解答が異なる。2問が連動しており、試作問題にはあったが、実際の共通テストでは初めて出題された。